

TOP コレクション たのしむ、まなぶ イントゥ・ザ・ピクチャーズ

TOP Collection: Learning: Into the Pictures

2018年5月12日(土) - 8月5日(日)



どうぞ一緒に写真の中へ！

ロベール・ドアノー
《ピカソのパン》
1952年 ゼラチン・シルバー・プリント
©Atelier Robert Doisneau/Contact

展覧会概要

TOP コレクションは、東京都写真美術館の収蔵作品を紹介する展覧会です。今年のテーマは「たのしむ、まなぶ」。

「美術館」という場における学びは、学校や書物による学びとは異なる体験をもたらします。美術館の空間の空気感、壁に並ぶ作品のリズム感、実際の作品の大きさによる存在感などを全身で感じたりすることからの学びは美術館特有のものであります。また、ただ作品を時代の資料として見て情報を得るというだけではなく、自分の興味にそって作品の中に写っているものをじっくり見ることによって、それまで気づかなかった作品の別の一面に気づいたり、あるいは「わからないこと」を発見し、その「わからなさ」をたのしんだり、ということも美術館での「まなび」です。

本展は、当館の 34,000 点以上におよぶ膨大なコレクションの中から、古今・東西のすぐれた名品の数々を紹介しつつ、観客の皆様を美術館の豊かで多様な学びへと誘います。写真に詳しい方にも、そして当館を訪れるのは初めてという方にも新たな「たのしみ」と「まなび」がきっとあることでしょう。さあ、どうぞ一緒に写真の中へ！



エリオット・アーウィット
《ブラスック、シベリア、ソ連》
1974年 ゼラチン・シルバー・プリント
©Elliott Erwitt / Magnum Photos ★



ギャリー・ウィノグラッド
《テキサス州、サン・マーコス、1964》
1964年 ゼラチン・シルバー・プリント

出品作家

約 140 点

出品作家

木村 伊兵衛、桑原 甲子雄、中平 卓馬、奈良原 一高、鈴木 理策、植田 正治、ダイアン・アーバス、ベルント&ヒラ・ベッヒャー、アンリ・カルティエ＝ブレッソン、シンディ・シャーマン、ロベール・ドアノー、エリオット・アーウィット、リー・フリードランダー、マイナー・ホワイト、ギャリー・ウィノグラッドをはじめ、約 50 名

本展の見どころ

珠玉の名作がズラリ！

国内・海外の名作がそろそろ東京都写真美術館コレクション。その数は3万4000点を超え、世界でも希少な写真・映像のコレクションとして知られています。本展は2016年秋のリニューアル・オープン以来、初めて国内外の代表的なコレクションを数多くご紹介するコレクション展です。親しまれている名作から、著名作家の代表作まで、惜しみなくズラリと展示。個展とはひと味違った贅沢なセレクションをお楽しみください。

<東京都写真美術館の写真コレクションについて>

当館では、「写真作品（オリジナル・プリント）を中心に、写真文化を理解する上で必要なものを、幅広く収集する」ことを基本方針に、1989（平成元）年より作品の収集をおこなっています。写真史において重要な国内外の作家・作品を幅広く、体系的に収集するとともに、日本の代表的作家も重点的に収集しています。写真通史を網羅する膨大な当館コレクションは、世界の美術館でも数多く展示されています。



アンリ・カルティエ＝ブレッソン 《ニューヨーク、アメリカ》 1937年 ゼラチン・シルバー・プリント
©Henri Cartier-Bresson / Magnum Photos ★



思わず“話したくなる”作品

教育普及を専門とする学芸員が企画した本展には、“思わず話したくなるような”作品が多数展示されます。作品のなかに写っているものや状況が不思議だったり、作家や被写体の気持ちを想像したり、写っていないものまで見えてくるような、話のネタが詰まった作品ばかりです。名作展の決定版でありながら、ふだんは解説パネルなどの情報をチェックして見終えてしまいがちな作品を、自由なアプローチでの鑑賞へといざなう優しい空間がひろがっています。テーマ、モチーフ、作家などにつながりや違いを感じながら、じっくりと作品の世界に入っていきます。

木村伊兵衛《大阪・中之島公園》 1955年 ゼラチン・シルバー・プリント

大学や企業も注目！「美術鑑賞」

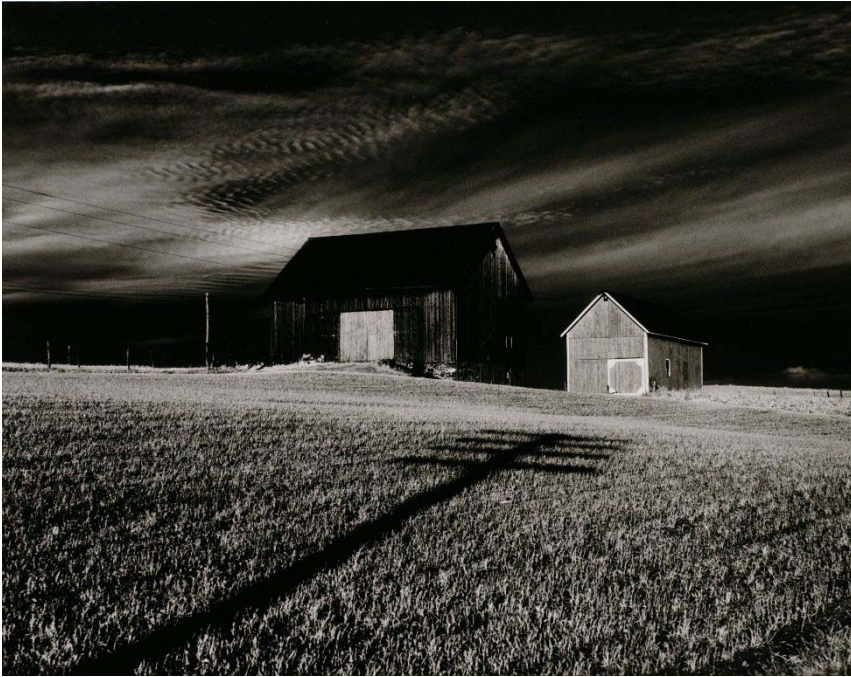
ひとつの作品をじっくりと見て、どんどん考えを深めていくこと。そして、ほかの人の考えに耳を傾けて、新しい見方を共有すること。いま大学や企業はこのような美術鑑賞に注目し、大学入試や企業研修にも取り入れています。本展では、鑑賞の案内となる『じっくり見てみるガイドブック』（日英）もご用意。対話型の写真鑑賞をリードします。

イベントを多数開催

会期中には、関連ワークショップやイベントを多数開催します。手話付きのギャラリートークや、障害の有無にかかわらずさまざまな人がいっしょに鑑賞するワークショップもあります。さらに、「鑑賞」と「制作」が同時に楽しめるワークショップができるのも、当館ならではの特徴です。おとなも子どももそして多様な背景の人々も、だれもが参加できる関連プログラムで「たのしむ、まなぶ」を体感してください。



鈴木理策《海と山のあいだ》より 2005年 発色現像方式印刷



マイナー・ホワイト
《納屋2棟、ダンスヴィル、ニューヨーク州》
1955年 ゼラチン・シルバー・プリント

関連事業

担当学芸員によるギャラリートーク

会期中の第1・第3金曜日 16:00 より担当学芸員によるギャラリートークを行います。
本展チケット（当日消印）をご持参のうえ、3階展示室入口にお集まりください。

手話通訳つきギャラリートーク

2018年6月1日(金)、7月6日(金)、8月3日(金)の16:00～
第1金曜日は上記「担当学芸員によるギャラリートーク」を手話通訳つきで行います。

じっくり見たり、つくったりしよう！

2018年7月28日(土) 10:30～12:30 / 7月29日(日) 10:30～12:30

写真にまつわる制作を体験したり、展示室で作品について楽しく話し合ったり、一度にさまざまな体験ができるプログラムです。 *作品解説ではありません。

対象：小学生とその保護者（2人1組） 定員：各日10組 事前申込制、先着順

参加費：800円（別途本展観覧チケットが必要です）

※申込方法など詳細は決定次第、ホームページでお知らせします。

視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

2018年6月3日(日) 10:30～12:30 / 6月24日(日) 10:30～12:30

障害の有無にかかわらず、多様な背景を持つ人が集まり、言葉を交わしながら一緒に美術を鑑賞するワークショップです。

対象：どなたでもご参加いただけます。 定員：各日7名 事前申込制

参加費：500円（別途本展観覧チケットが必要です）

※申込方法など詳細は決定次第、ホームページでお知らせします。

クロマキーランド

2018年7月7日(土) 14:00～17:00

「クロマキー合成」によって、実際にそこにはない ユニークな記念写真を撮影します。
予約不要 どなたでもご参加いただけます。

対話型作品鑑賞会

2018年5月31日(木) 18:30～／6月28日(木) 18:30～／7月26日(木) 18:30～

参加者で対話を交えながら作品を鑑賞します。＊作品解説ではありません。

本展チケット（当日消印）をご持参のうえ、3階展示室入口にお集まりください。

「たのしむ、もらう」TOP スタンプラリー

「TOP コレクション 夢のかけら」展を2会期ともご覧いただくと、もれなくオリジナルグッズがもらえるスタンプラリーです。

※詳細は決定次第、当館ホームページにてお知らせいたします。

次回予告

「TOP コレクション たのしむ、まなぶ 夢のかけら」展

開催期間 2018年8月11日(土・祝)ー 11月4日(日)

展覧会図録

『TOP コレクション たのしむ、まなぶ』

本展および次回「夢のかけら」展の2期を含む TOP コレクション展より、代表的な出品作品を掲載。
テキストは、佐伯胖(さえきゆたか 田園調布学園大学大学院教授、東京大学・青山学院大学 名誉教授)、
武内厚子(当館学芸員)、石田哲朗(当館学芸員)が執筆します。

編集・発行：東京都写真美術館

開催概要

主催 東京都 東京都写真美術館

協賛 凸版印刷株式会社

会場 東京都写真美術館 3階展示室

東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

Tel 03-3280-0099 URL <http://topmuseum.jp>

開館時間 10:00～18:00 (木・金は20:00まで) 入館は閉館30分前まで

休館日 毎週月曜日 ただし、7月16日(月・祝)は開館、7月17日(火)は休館

観覧料 一般 500(400)円／学生 400(320)円／中高生・65歳以上 250(200)円

※()は20名以上団体、小学生以下および都内在住・在学の中学生、障害手帳をお持ちの方とその介護者は無料、第3水曜日は65歳以上無料

※7月19日(木)～8月3日(金)の木・金 18:00-21:00 は学生・中高生無料／一般・65歳以上は団体料金＊各種割引の併用はできません。

このリリースのお問い合わせ先

このリリースに掲載されている図版をデータにてご用意しております。
掲載をご希望の際は、下記広報担当までご連絡ください。

掲載点数が1点の場合は、展覧会メインイメージとして、本リリース表紙にあります、

ロベール・ドアノー 《ピカソのパン》 1952年 ゼラチン・シルバー・プリント 東京都写真美術館蔵
©Atelier Robert Doisneau/Contact

のご掲載をお薦めいたします。

なお、★のついた作品（©Elliott Erwitt / Magnum Photos および©Henri Cartier-Bresson / Magnum Photosの2点）は名刺サイズでご使用ください。大きなサイズでご使用の場合は、別途使用料がかかりますので、下記広報担当者までお申し出ください。

図版をご掲載の際は、必ず作品キャプションおよびクレジットの表記をお願いします。
また、図版のトリミングや文字掛け等の加工はできません。

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 東京都写真美術館

Tel 03-3280-0034 Fax 03-3280-0033 <http://topmuseum.jp>

展覧会担当 武内厚子 a.takeuchi@topmuseum.jp

広報担当 久代明子 平澤綾乃 前原貴子 press-info@topmuseum.jp